

厚田中学校保護者の皆様

石狩市立厚田中学校

校長 三浦 崇史

「平成29年度全国学力・学習状況調査」結果の概要について

今年度4月、3年生を対象に実施された全国学力学習状況調査について、分析・考察を行いましたのでご報告いたします。

本校の場合、調査対象学年生徒が少数ではありますが、今回の分析・考察を客観的なデータの一つとしてとらえ、今後の学習指導及び指導改善等に生かしてまいりたいと考えておりますので、ご家庭でもお子さんの指導等の参考にしていただければと思います。

尚、本調査の結果につきましては生徒や学年、学校としての学力の全てを表すものではないことを申し添えます。

1. 調査結果から見られる課題等 (○：おおむねできている内容 ●：課題の見られた内容)

国語A；主として『知識』に関する調査

□基本的事項の知識・理解については、全道・全国と比べ同様です。

※全32問中、16問が正答率100%（5名全員正解） となっています。

◇話すこと・聞くこと ◇書くこと ◇読むこと の領域についてはとてもよく理解しています。

◆伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の領域については次の点に課題が見られました。

- 話し言葉と書き言葉との違いを理解する。
- 文脈に即して漢字を正しく書く。
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解する。
- 楷書と行書との違いを理解する。

国語B；主として『活用』に関する調査

□活用面については、全道・全国と比べ相当高くなっています。

- 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する。
- 集めた材料を整理して文章を構成する。
- 目的に応じて必要な情報を読み取る。
- 必要な情報を集めるための見通しをもつ。

数学A；主として『知識』に関する調査

□基本的事項の知識・理解については、全道・全国と比べ、やや高くなっています。

- 加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算できる。
- 正式の加法と減法の計算ができる。
- 簡単な一元一次、二元一次方程式を解くことができる。
- 等式を目的に応じて変形することができる。
- 空間における直線と平面の平行について理解している。
- 錯角の意味を理解している。
- 関数の意味を理解している。
- 与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している。

数学B；主として『活用』に関する調査

□活用面では、全道・全国と比べ、やや低くなっています。

○付加された条件の下で、図形の性質を用いることができる。

○与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができる。

●2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる。

●事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる。

●証明した事柄を用いて新たな性質を見いだすことができる。

2. 学習指導の改善にあたって

各教科の問題から、特に課題の見られた設問例と改善策について記載します。

【国語科】

設 問 例			
A	1	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する。
	9一3	文脈に即して漢字を正しく書く	店を <u>イトナ</u> む 正解（営）
	9五	事象や行為などを表す多様な語句について理解する	話合いの記録として適切な言葉を考える。
	9六1	楷書と行書との違いを理解する	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する。

《改善策》

- 1 話し言葉と書き言葉を日常生活において、適切に使える指導を大切にしていきます。同じ内容を電話で伝える場合と手紙で伝える場合では、表現の仕方や伝わり方がどのように違うのか等について比較したりする学習活動を進めます。
- 9一3 漢字の指導では、正確に読み書きできるようにすることに加え、漢字の特徴を理解して適切に使えるようにすることが大切です。新出の漢字だけでなく、これまでに学習した漢字を各教科等で積極的に使用する学習活動を進めます。
- 9五 日常生活や社会生活の中で使われる、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章で用いる語彙を豊かにしようとするのが大切です。各教科等の学習や読書活動を通して、出会った多様な語句を取り上げ、その場の状況に応じた適切な言葉について考える学習活動を進めます。
- 9六1 同じ文字の楷書と行書とを比較し、筆順や運筆などの違いについての理解を深め、それらを生かして行書で書く学習活動などを取り入れていきます。

【数学科】

設 問 例			
A	5	(1)	図 形 (知識・理解) 直方体において、与えられた辺に平行な面を書く。
	6	(1)	図 形 (知識・理解) 錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ。
	9		関 数 (知識・理解) 長方形の縦の長さとの面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する。
	11	(2)	関 数 (知識・理解) 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。
B	1	(2)	図 形 (数学的な見方・考え方) 四角形 ABCD の模様が 1 回の回転移動によって四角形 BEFG の模様になるとき、どのような回転移動になるかを説明する。
	2	(3)	数と式 (数学的な見方・考え方) 六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を $6 + 5(n - 1)$ という式で求めることができる理由を説明する。
	4	(3)	図 形 (数学的な見方・考え方) 点 D と点 E を $BD = CE$ の関係を保ったまま動かしたとき、 $\angle BFD$ の大きさについて、正しい記述を選ぶ。

《改善策》

- A5 (1) 空間における直線や平面の位置関係を理解できるようにするために、空間図形について見取り図を見るだけでなく、身近な立体を見たり、実際に触れたりしながら、様々な方向や視点から空間図形を観察する学習活動を進めます。
- A6 (1) 2直線に1直線が交わってできる角の位置関係について理解できるようにするために、2直線に1直線が交わってできる8つの角で、互いに同位角や錯角の関係になっている角を見いだす学習活動を進めます。
- A9 様々な事象の考察を通して関数の意味を理解できるようにするために、事象の中にある2つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見いだす学習活動を進めます。
- A11 (2) 一次関数 $y = ax + b$ の変化の割合を求めることができるようにするために、表における x 、 y の値の変化の様子を調べる学習活動を進めます。
- B1 (2) 日常的な事象において、数量や図形に着目して見いだした事象の特徴を、数学的に表現できるようにするために、前提とそれによって説明される結論の両方を説明する場面を取り入れた学習活動を進めます。
- B2 (3) 事象を数学的に考察できるようにするために、数量の関係や法則などを式に表したり式を事象に即して解釈したりする場面を取り入れる学習活動を進めます。
- B4 (3) ある条件の下でいつでも成り立つ性質や関係を見いだすことができるようにするために、条件を保ったまま図形の形を変えながら観察し、辺や角について変わらない性質を見いだす場面を取り入れた学習活動を進めていきます。

3. 生活・学習状況

□調査結果から見られる課題等

(◎：全員が当てはまる ○：だいたい当てはまる ●：課題の見られた内容)

- ◎友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- ◎家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校行事に来校する。
- ◎家で、学校の宿題をしている。 ◎学校で友達に会うのは楽しいと思う。
- ◎学校で、好きな授業がある。 ◎学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。
- ◎先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- ◎先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、わかるまで教えてくれる。
- ◎友達との約束を守っている。 ◎人が困っているときは助ける。
- ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 ◎人の役に立つ人間になりたい。
- 朝食を毎日食べている。 ○毎日、同じくらいの時刻に就寝・起床している。
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 ○自分には、よいところがある。
- 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる。
- 授業で学んだことを、ほかの学習や生活に生かしている。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話をする。
- 家で、学校の授業の復習をしている。○学校に行くのが楽しい。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。 ○地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。
- テレビのニュース番組やインターネット（携帯電話やスマートフォンの場合も含む）のニュースを見る。
- 学校の規則を守っている。
- 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。
- 家で、学校の授業の予習をしている。 ●新聞を読んでいる。 ●読書がすき。

ご家庭へのお願い

どの課題も学校と家庭が一体となった指導を推進していくことが大切です。

- ◇ 規則正しい生活習慣が確立している反面、家庭におけるテレビ、ゲーム、ネット等の時間が多ようです。家庭学習の時間とのバランスや家族団らんの時間の確保として「いしかりふれあいDAY」の積極的な活用などについて再度、お子さんを交え話し合っただきたいと思っております。
- ◇ 主にテレビやネットから情報収集をしており、活字からの情報収集が少ないようです。家庭においては、活字を読む機会の設定と時間の確保に努めていただければと思います。また、ネットなどを活用させるときは、家庭での約束事を設定した上で、正しい活用方法についてのご指導もお願いします。
- ◇ 家庭学習の仕方は、学校全体の課題としてとらえ指導を進めているところです。家庭学習に取り組みやすいように具体的に課題を提示するなど工夫し、家庭学習の習慣の定着を図っていきます。また、一人一人に合った家庭学習の内容、方法については適宜、学級担任、教科担任からも適切にアドバイスをしていくよう取り組めます。困り感や不安な面がありましたら、すぐに学校に連絡いただければと思います。